

(本記者発表に関わる記事の解禁は、新聞社は3月6日(土)の朝刊から、そのほかは3月5日(金)の17:00からとさせていただきます)

シルクロード都市 ウズベキスタン・サマルカンド州 カフィル・カラ城における高級飲食物食糧庫の発見

2月26日(金) 事前説明会 奈良・東生駒キャンパスで
3月5日(金) 記者発表

帝塚山大学(学長:蓮花一己 所在地:奈良市帝塚山7-1-1)とウズベキスタン考古学研究所が、共同で実施したウズベキスタン・サマルカンド市カフィル・カラ城(シルクロード都市)における2019年度の調査で、玉座がある部屋のごく近い場所に、高級飲食物の食糧庫を発見しました。

【2019年度発掘成果の概要】

- 玉座がある部屋の横に高級飲食物の食糧庫を新たに発見。
- 食糧庫は中央に柱列が並ぶ特殊な二階構造であり、その一階(地下蔵)の入口側には多数の大甕(がめ)が据えられていた。内部の炭素付着状態から酒甕(ワインと推定)と油甕(オリーブオイルと推定)に区別でき、粘土で封をしてスタンプを押して厳重に管理されていたと考えられる。
- 食糧庫は二重構造で、飲食物の保存のために温度管理をしたものと推定される。
- 食糧庫の奥は板壁とドアで仕切られ、そこにはムギ・アワ・マメなどを布袋に入れて保管されていた。それ以外にも、ニンニク・クルミおよび、ハチミツを入れていたと推定される容器、装飾付き木製鉢などが見つかった。

このような発見は極めて珍しいことであり、これらの成果に動物骨のデータやソグド人関係の壁画資料を加えて、王の食卓を復元する試みを行いました。またエーゲ海文明の食糧貯蔵庫や東アジアの甕蔵との比較を行い、東西文明交流における意義も検討しています。

つきましては、ウズベキスタン・サマルカンド市カフィル・カラ城(シルクロード都市)発掘調査の成果報告会として、別紙のとおり記者の皆様に向けて報告をさせていただきます。

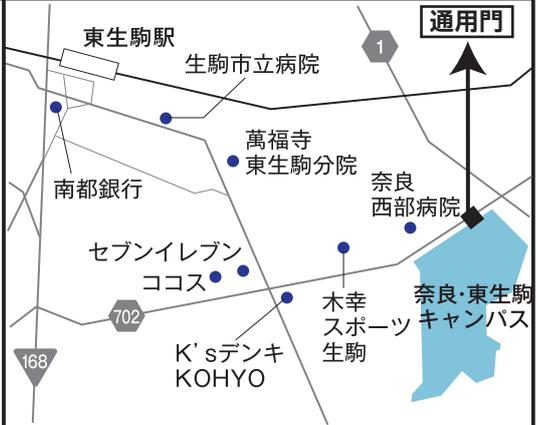
貴社メディアにおかれましても、取材ならびに報道のご協力をくださいますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

【カフィル・カラ城におけるこれまでの発掘成果について】

- 2017年度にの調査においては、ゾロアスター教の儀式の場面を描いた浮き彫り板絵を発掘し、そこに正倉院宝物における楽器の琵琶や箏篳が描かれていたことを報告し、それらが日本に伝わるシルクロード交流において、中央アジアが重要な地域であったことが具体的かつ明確しました。
- 2018年度の調査においては、玉座があると推定した部屋から金製品や宝飾の装身具を発掘し、その装身具がアフガニスタンのギリシア系黄金文化と、日本・東アジアの黄金文化のシルクロードを介したつながりを解明する大きな鍵になることを報告しました。

本件に関する
お問合せ

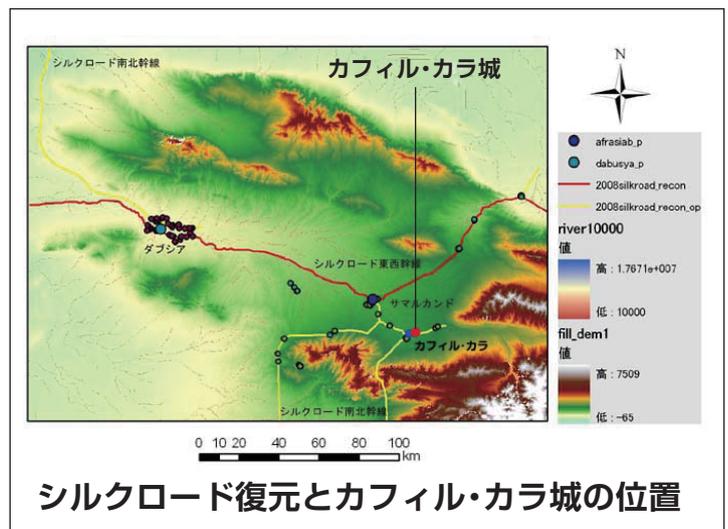
帝塚山大学 入試広報課 〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1
Tel:0742-48-9149 E-mail:koho@jimmu.tezukayama-u.ac.jp(担当:鈴木)

事前説明会および記者発表の概要	会見場所
<p>【事前説明会】</p> <p>3月5日に開催の記者発表に先駆けて、概略をご説明させていただきます。記者発表に向けての質問などは、広報で取りまとめさせていただきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 【日時】 2021年2月26日(金) 16:00～ 【場所】 帝塚山大学 奈良・東生駒キャンパス 図書館2Fシーキューブ (奈良市帝塚山7-1-1) 【発表者】 宇野隆夫(帝塚山大学客員教授) <p>【記者発表】</p> <p>2019年度発掘調査の全容を発表します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 【日時】 2021年3月5日(金) 10:00～ 【場所】 帝塚山大学 奈良・東生駒キャンパス 3号館3F 会議ホール (奈良市帝塚山7-1-1) 【発表者】 宇野隆夫(帝塚山大学客員教授) 	 <p>【関連講座】</p> <p>◆科学研究費助成事業 研究成果報告会 「シルクロード 王様の食卓」 (オンデマンド配信講座)</p> <p>配信期間: 3月10日(水)～31日(水) 報告者: 宇野隆夫 (帝塚山大学 客員教授) 講座時間: 約90分 費用: 無料 申込はHPから</p>

お車でお越しの場合は、通用門からお入りください。そこで駐車場所をご案内させていただきます。

【カフィル・カラ城について】

カフィル・カラ城は、中央アジア最大のシルクロード都市であるアフラシアブ城の東南30kmの戦略的に重要な地点にあり、王の離宮説が有力。これらの資料はカフィル・カラ城が全焼してできた火災層から発見され、年代は貨幣などからソグド王タルフン(Tarhun)(在位700-710年)の時代と推定できました。おそらく西暦710年に、アラブ勢力が中央アジア攻めた時に焼け落ちたものと考えられます。



<p>本件に関する お問合せ</p>	<p>帝塚山大学 入試広報課 〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1 Tel:0742-48-9149 E-mail:koho@jimmu.tezukayama-u.ac.jp(担当:鈴木)</p>
------------------------	---